

将軍別、日光社参・上洛・朝鮮通信使・琉球使節一覧表

将軍	年号	西暦	区分	備考
徳川家康	慶長10	1605	上洛	将軍職を秀忠に譲る旨奏聞
徳川秀忠	慶長12	1607	朝鮮通信使	回答兼刷還使/国交再開
	元和 3	1617	朝鮮通信使	回答兼刷還使/伏見交聘
			日光社参	3月に日光東照宮竣工
			上洛	
	元和 5	1619	日光社参	
	元和 8	1622	日光社参	
元和 9	1623	日光社参	大納言家光が社参	
徳川家光	寛永 1	1624	朝鮮通信使	家光襲職の慶賀/回答兼刷還使
	寛永 5	1628	日光社参	大御所秀忠が社参
			日光社参	
	寛永 6	1629	日光社参	
	寛永 9	1632	日光社参	秀忠死去のため服喪につき遥拝
	寛永11	1634	琉球使節	尚豊襲封の謝恩
			日光社参	日光東照宮大造営開始
			上洛	
	寛永13	1636	朝鮮通信使	泰平の賀/通信使号に復旧/将軍称号「日本国大君」/日光山参詣
			日光社参	5月：日光東照宮大造営完成
	寛永17	1640	日光社参	
	寛永19	1642	日光社参	
	寛永20	1643	朝鮮通信使	家綱誕生の慶賀/日光山参詣/鎖国体制の成立
	寛永21	1644	琉球使節	尚賢襲封の謝恩/家綱誕生の慶賀
	正保 3	1646	(日光例幣使)	徳川家光の要請で朝廷が日光東照宮に例幣使派遣を決める
慶安 1	1648	日光社参	徳川家康33回忌	
慶安 2	1649	琉球使節	尚質襲封の謝恩	
		日光社参	大納言家綱が社参	
徳川家綱	承応 2	1653	琉球使節	家綱襲職の慶賀
	明暦 1	1655	朝鮮通信使	家綱襲職の慶賀/日光山参詣
	寛文 3	1663	日光社参	
	寛文11	1671	琉球使節	尚貞襲封の謝恩
徳川綱吉	天和 2	1682	朝鮮通信使	綱吉襲職の慶賀
	天和 2	1682	琉球使節	綱吉襲職の慶賀
徳川家宣	宝永 7	1710	琉球使節	家宣襲職の慶賀/尚益襲封の謝恩
	正徳 1	1711	朝鮮通信使	家宣襲職の慶賀/新井白石、通信使諸式を改変
徳川家継	正徳 4	1714	琉球使節	家継襲職の慶賀/尚敬襲封の謝恩
徳川吉宗	享保 3	1718	琉球使節	吉宗襲職の慶賀
	享保 4	1719	朝鮮通信使	吉宗襲職の慶賀/吉宗、白石の改変を復旧/寄人馬を継通し請負人馬に改める→国役金
			日光社参	
徳川家重	延享 5	1748	朝鮮通信使	家重襲職の慶賀/寄人馬に戻す
	寛延 1	1748	琉球使節	家重襲職の慶賀
	宝暦 2	1752	琉球使節	尚穆襲封の謝恩
徳川家治	宝暦14	1764	朝鮮通信使	家治襲職の慶賀/継通し請負人馬→国役金/明和の伝馬騒動
	明和 1	1764	琉球使節	家治襲職の慶賀
	明和 9	1772	(日光社参)	延期
	安永 5	1776	日光社参	

徳川家斉	天明 8	1788	(朝鮮通信使)	延期が決定/家斉襲職の慶賀
	寛政 2	1790	琉球使節	家斉襲職の慶賀
	寛政 8	1796	琉球使節	尚温襲封の謝恩
	文化 3	1806	琉球使節	尚「水景頁」襲封の謝恩
	文化 8	1811	朝鮮通信使	家斉襲職の慶賀/対馬交聘/全国国役金
	文政 8	1825	(日光社参)	計画のみ
	天保 3	1832	琉球使節	尚育襲封の謝恩
徳川家慶	天保13	1842	琉球使節	家慶襲職の慶賀
	天保14	1843	日光社参	
	弘化 4	1847	(朝鮮通信使)	以後、朝鮮通信使の礼を江戸から大坂に移して受けることとする。
	嘉永 3	1850	琉球使節	尚泰襲封の謝恩
徳川家茂	文久 3	1863	上洛	陸路上洛。還御は海路
	元治 1	1864	上洛	上洛、還御とも海路
	慶応 1	1865	進発(上洛)	陸路